

# 第2期鈴鹿市地域福祉計画

## 計画のあらまし

一人ひとりが“元気なまち”をみんなでつくる  
一人ひとりの“しあわせな暮らし”をみんなで支える

### 鈴鹿市地域福祉計画とは・・・

- ・ 少子高齢化の進行や社会の変化などによって多様化、増大する福祉ニーズに対応するために、地域のあらゆる力を合わせて取り組むうえでの、基本的な考え方と方向性を定めた計画です。
- ・ 市や関係機関など「公」と市民・団体・事業者などの「民」が協働して地域福祉を推進するため、鈴鹿市社会福祉協議会の「第3次鈴鹿市地域福祉活動計画」と一体的に策定しました。
- ・ 多様な立場の人々の意見を反映するよう、市民・団体・事業者と市・関係機関が策定委員会で協議して素案を作成し、パブリックコメントで広くご意見をお聴きして策定しました。
- ・ 計画の期間は、平成28年～35年度の8年間で、4年目に見直しを行います。
- ・ この計画は、「公」と「民」が役割を分担し、協働して推進していきます。

あなたも「できること・したいこと」で参加し、  
鈴鹿市の地域福祉を、いっしょにすすめていきましょう！

平成28年3月  
鈴 鹿 市

# 鈴鹿市の地域福祉 — 現状と第2期計画で取り組むべき課題

## 地域福祉とは

この計画では、地域福祉を「だれもが地域とつながりをもって安心して心豊かに暮らせるように、地域のあらゆる力をあわせて、地域にあった福祉をつくる取組」と位置づけています。

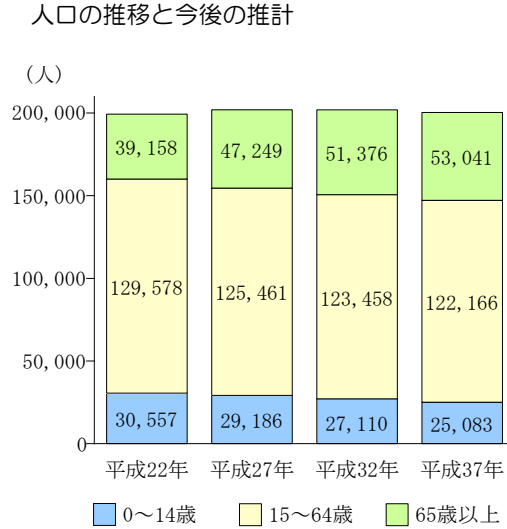
つまり

地域福祉は、だれもが支援が必要なおときには受け手となり、各々ができることで担い手ともなって「お互いさま」の気持ちで取り組むことで、効果的にすすめていくことができるものです。

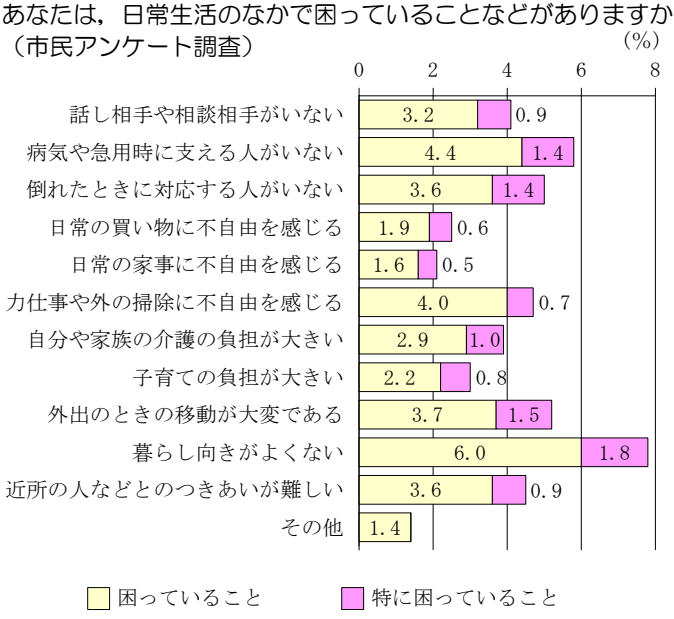
【今後の鈴鹿市の地域福祉を考えていくために、まず、現状と課題をみてみましょう。】

■ 今後、少子高齢化が、いっそうすすむと予測されます。

■ 日常生活のなかで、さまざまな“困りごと”や不安が生じています。

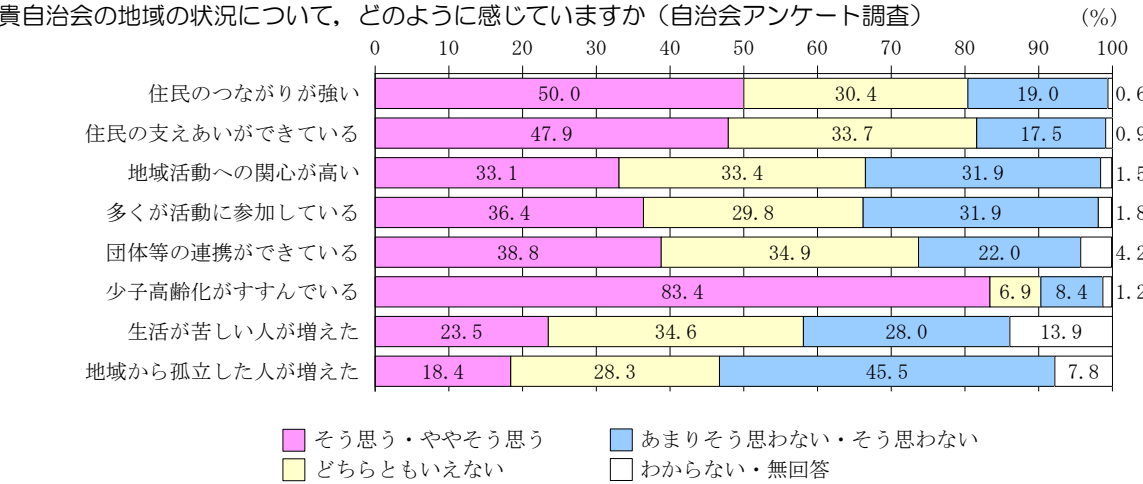


国立社会保障・人口問題研究所  
「日本の地域別将来推計人口」から



このように、地域の状況が変化するなかで

■ 地域によって、住民のつながりや活動の状況、福祉のニーズには違いがあります。

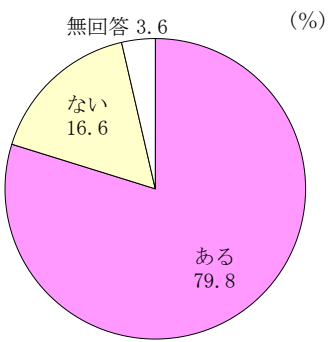


■ そう思う・ややそう思う ■ あまりそう思わない・そう思わない  
■ どちらともいえない ■ わからない・無回答

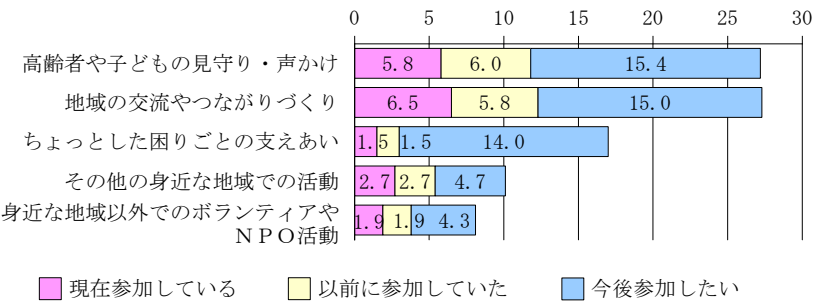
第2期地域福祉計画の策定にあたり、市民の意見やニーズを広く反映するため、市民、地域福祉に関わる活動を行っている団体・自治会、中学生を対象としたアンケート調査を実施しました。この「計画のあらまし」には、各調査の結果の一部を掲載しています。

■ 多くの市民が福祉に関心をもっています。  
一方、現在、福祉活動に参加している人は、多くはありませんが、より多くの人が「今後は参加したい」と考えています。

あなたは「福祉」に関心がありますか（市民アンケート調査）

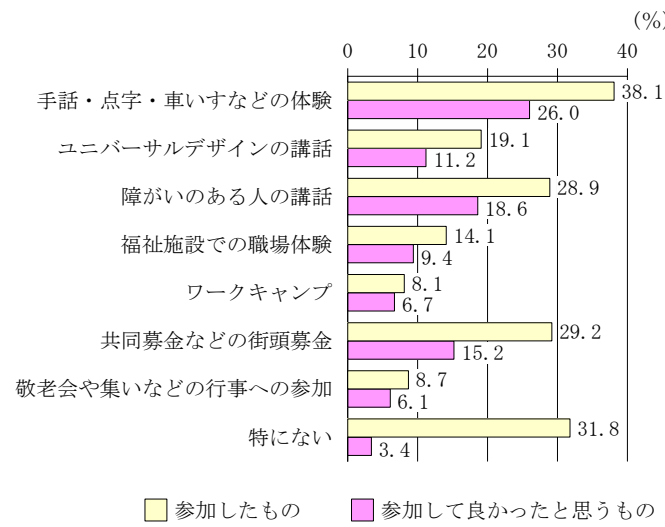


身近な地域の福祉に関する活動などで、現在、参加しているもの、以前に参加していたもの、今後、参加したいと思うものがありますか（市民アンケート調査）



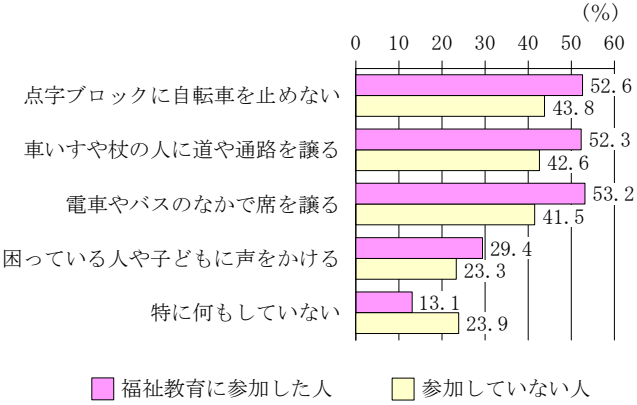
■ 子どもたちの福祉意識も、参加・体験型の福祉学習を通じて高まっています。

あなたは、学校や地域の福祉教育として、つぎのような活動に参加したことがありますか（中学生アンケート調査）



あなたは、まちなかで、つぎのようなことに心がけていますか（中学生アンケート調査）

（※）福祉教育への参加経験とのクロス集計



こうした状況をふまえて、

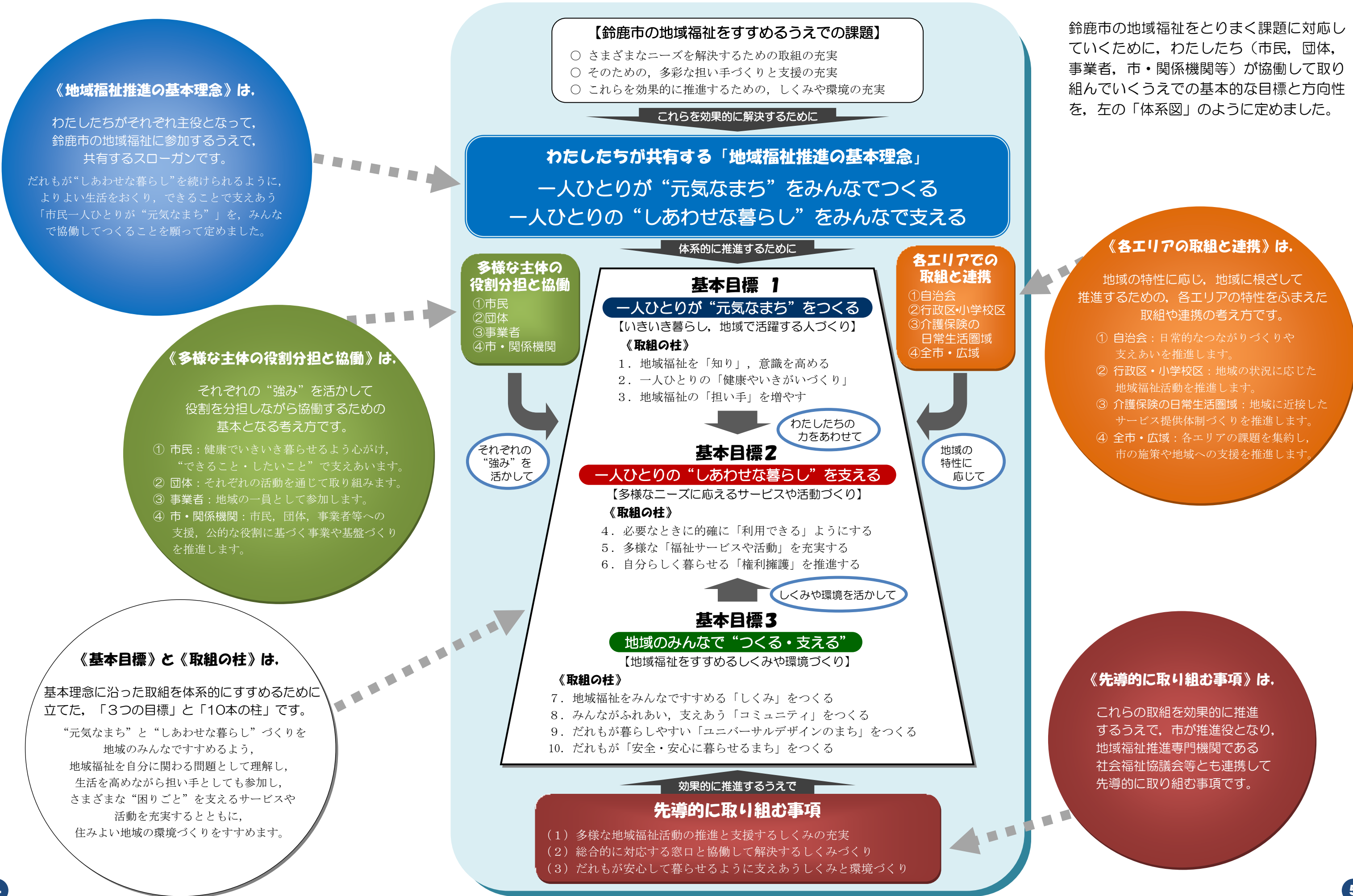
【第2期地域福祉計画で取り組む課題】をつぎのように整理しました。

- 【課題1】 地域福祉のさまざまなニーズを解決するための取組を充実する必要があります。
- 【課題2】 そのための、地域福祉の多彩な担い手づくりと、担い手への支援を充実する必要があります。
- 【課題3】 これらを効果的に推進するために、地域福祉をすすめるしくみや環境を充実する必要があります。

これらの課題を効果的に解決するために、  
第2期の地域福祉計画をつくりました

# 地域福祉を推進するうえでの基本的な目標と方向性

— 計画の体系と主な内容






目標の実現に向けてみんなで取り組むこと

— あなたやあなたが所属している団体等で行きたいこと

《取組の柱》をより細かくした《取組項目》ごとに、【推進の目標】であり、また、  
【成果を点検・評価する指針】ともなる《推進・評価のポイント》を定めました。

《推進・評価のポイント》に沿って、市や、  
さまざまな市民・団体・事業者等で行っていきます。

「あなたやあなたが所属している団体」で  
“できること”や“したいこと”も考えてみてください。  
そして、協力して取り組んでいきましょう！



《基本目標》	《取組の柱》	《取組項目》	《推進・評価のポイント》	あなたや所属している団体で “できること”・“したいこと”は
<div>1</div> <div>一人ひとりが “元気なまち” をつくる</div> <div>【いきいき暮らし、 地域で活躍する人 づくり】</div>	1. 地域福祉を知り、 “受け手”・“担い手” としての意識を高めます	1－1. 地域福祉の情報を積極的に発信します	(1) 多様な情報を集めて、わかりやすく発信します (2) 必要な情報が的確に届くようにします	
		1－2. 地域福祉についての学習を推進します	(1) 多様な学習機会を体系的につくり (2) さまざまなところで学習をすすめる (3) 学習の成果を実践につなげる	
		2－1. 主体的に取り組む意識を高めます	(1) 多様な参加のきっかけをつくる	
		2－2. 心身の健康づくりと介護予防をすすめる	(1) ライフステージに応じた健康づくりをすすめる (2) 地域包括ケアシステムの一環で介護予防を推進する	
	2. 一人ひとりが“元気な まち”をめざし、健康や 生きがいづくりに 取り組みます	2－3. 地域に密着した医療を推進する	(1) 地域での生活や介護を支える医療を充実する	
		2－4. 各々のニーズに応じた生きがいづくりや就労を推進する	(1) 社会参加を通じた生きがいづくりをすすめる (2) ニーズに応じた就労をすすめる	
		3－1. 福祉の仕事に就く人を増やします	(1) 福祉の仕事への理解をすすめる (2) 福祉の仕事の労働環境を充実する	
		3－2. 地域福祉活動への参加を広げる	(1) “受け手”・“担い手”の多様なニーズに応じた活動をつくる (2) 多様な人々の参加をすすめる	
	3. 地域福祉の“担い手” を増やします	3－3. 地域福祉活動への支援を充実する	(1) 活動の情報を積極的に発信する (2) 活動への助言や専門的な支援を充実する (3) 利用しやすい拠点を増やする (4) 活動に必要な資金を確保する	
<div>2</div> <div>一人ひとりの “しあわせな 暮らし”を 支える</div> <div>【多様なニーズに 応えるサービスや 活動づくり】</div>	4. 福祉サービス等が、 必要なときに的確に 利用できるようにする	4－1. 福祉サービスや日常生活の支援等に関する情報提供を充実する	(1) 必要な人に必要な情報が届くようにする (1) だれでも気軽に相談できる窓口を充実する (2) 身近なところで相談できるようにする (3) 相談のネットワークを充実する	
		4－2. 福祉に関する相談が気軽にできるようにする	(1) 地域でのつながりづくりと見守りを推進する (2) 積極的なニーズ把握をすすめる	
		4－3. “気になる人”を相談や支援につなぐ取組を充実する	(1) 新たなニーズにも対応した多様なサービス等を充実する (2) サービス等を的確に提供する体制を充実する (3) 地域福祉の視点でサービス等を推進する	
	5. “しあわせな暮らし”を 支える多様な福祉サービス や活動を充実する	5－1. 多様なニーズに応えるサービス等をすすめる	(1) 利用者の立場に立ったサービス等を推進する (2) 担い手のスキルを高める	
		5－2. サービスや活動の質を高める	(1) 人権や権利への理解を広げる (2) 偏見や差別をなくす取組を推進する	
	6. だれもが“自分らしく” 暮らすための権利擁護を 推進する	6－1. 偏見や差別のないまちづくりをすすめる	(1) 虐待や権利侵害を予防する (2) 早期に発見し、適切に対応する	
		6－2. 虐待や権利侵害の予防と適切な対応を推進する	(1) 後見的な支援を充実する	
		6－3. 日常生活での権利擁護を支援する		
	7. 地域福祉をみんなで すすめるしくみをつくる	7－1. 分野や立場を超えて推進するしくみをつくる	(1) 地域福祉について話しあう場をつくる (2) 協働して取り組むネットワークを充実する (3) 関連する計画を連動させて推進する	
		8－1. ふれあい、支えあうつながりをつくる	(1) さまざまな人がつながる機会や場を増やす (2) 社会から孤立する人をなくする	
<div>3</div> <div>地域の みんなで “つくる・ 支える”</div> <div>【地域福祉を すすめるしくみや 環境づくり】</div>	8. みんながふれあい、支え あうコミュニティづくり をすすめる	8－2. 身近な地域での福祉活動をすすめる	(1) 日常的な支えあいをすすめる (2) 小地域福祉活動を推進する体制を充実する	
		9－1. “心のバリアフリー”を推進する(※)	(1) バリアフリーやユニバーサルデザインへの理解と実践を広げる	
	9. だれもが暮らしやすい ユニバーサルデザインの まちづくりをすすめる	9－2. だれもが快適で安全に移動できるまちをつくる	(1) 道路、公園や建築物などのユニバーサルデザイン化をすすめる (2) 移動の支援を充実する	
		10－1. 安全・安心への理解と意識を高める	(1) だれもが安全・安心に暮らせるまちづくりへの意識を高める	
	10. だれもが安全・安心に 暮らせるまちづくりを すすめる	10－2. 弱い立場におかれがちな人を、犯罪や事故などからまもる	(1) 危険なところの点検や改善をすすめる (2) 地域ぐるみの見守り活動をすすめる	
		10－3. 災害時にだれもが安全に避難できるように備える	(1) 支援が必要な人を支える体制を充実する (2) だれもが安心して利用できる避難所をつくる	

(※) バリアフリーは障がいのある人などの社会参加を妨げているバリアをなくしていくこと、ユニバーサルデザインはだれもが使いやすいものをつくっていくという考え方です。

# 先導的に取り組む事項

この計画を効果的に推進するうえで、先導的な役割を担う次の事項を、市が推進役となり、地域福祉推進機関の社会福祉協議会等とも連携して取り組みます。

## (1) 地域での生活を支援する多様な地域福祉活動を推進するとともに、活動を支援するしくみを充実します

### ① 地域福祉活動への支援を充実します

市民、団体、事業者等による主体的な活動を支援する体制や財源の確保などを推進します。

### ② 有償型の地域福祉活動等を推進します

受け手・担い手の双方が気兼ねなく支えあうしくみとして、無償の活動とともに有償型の地域福祉活動も推進します。

### ③ 福祉に関する学習を効果的にすすめるためのネットワークを構築します

さまざまなところで取り組まれている福祉学習の連携を図り、学習の成果を活動につなぐ取組を推進します。

### ④ 地域福祉の拠点となる施設整備を検討します

地域福祉の情報や支援の発信元、さまざまな活動や交流の場などの拠点機能をもつ施設の整備を検討します。

## (2) さまざまなニーズに総合的に対応する窓口と、関係部局や関係機関・事業者・団体等が協働して解決するしくみをつくります

### ① 地域福祉の情報を一体的に提供するシステムをつくります

「公」・「民」の幅広い情報を集約し、わかりやすく整理して発信するシステムづくりを検討、推進します。

### ② 福祉、介護、子育てなどの相談がしやすいしくみを充実します

さまざまな“困りごと”をワンストップで気軽に相談でき、適切な支援につながるしくみづくりを推進します。

### ③ 生活に困窮している人への支援を充実します

経済的に困窮している人の自立を支援するとともに、社会からの孤立を防止するつながりづくりを推進します。

## (3) だれもが地域で安心して暮らせるように支えあうしくみと環境をつくります

### ① 地域福祉をすすめるネットワークを構築します

市民、団体、事業者と市・関係機関などが“強み”を活かして協働できるよう、重層的なネットワークを構築します。

### ② 災害時の避難に支援が必要な人とのつながりや支援の体制を充実します

災害時にだれもが安全に避難できるよう、日頃からつながりをつくり、支援体制や備えを推進します。

### ③ 地域福祉に関わる計画を効果的に推進します

この計画を分野別計画や地域福祉活動計画と連携して推進するよう、PDCAサイクル(※)による取組を推進します。

(※) Plan(計画) → Do(実行) → Check(点検) → Act(改善)を繰り返し、継続的に改善をすすめる手法です。

## 第2期鈴鹿市地域福祉計画 《計画のあらまし》

鈴鹿市健康福祉部健康福祉政策課

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号

Tel 059-382-9012 Fax 059-382-7607

E-mail/ kenkofukushiseisaku@city.suzuka.lg.jp

